



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月22日 東

上場会社名 株式会社フリークアウト 上場取引所
 コード番号 6094 URL <https://www.fout.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 本田 謙
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 横山 幸太郎 (TEL) 03(6721)1740
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績 (平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,366	—	152	—	137	—	40	—
25年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 41百万円(—%) 25年9月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	7.38	6.78
25年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成25年9月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年9月期第3四半期の数値及び平成26年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成26年2月26日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 当社は、平成26年6月24日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成26年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成26年9月期第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,673	2,159	77.0
25年9月期	1,582	1,128	66.0

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 2,059百万円 25年9月期 1,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想 (平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,140	45.2	136	△46.3	106	△57.6	1	△98.0	△98.0

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(104,200株)、ストックオプション行使分(70,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	6,018,460株	25年9月期	5,488,460株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	—株	25年9月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	5,503,991株	25年9月期3Q	—株

(注) 当社は、平成26年2月26日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正や株価の回復が進み、企業業績の改善、設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善によって個人消費が回復基調で推移しました。一方、海外経済の下振れや消費税増税に伴う個人消費の落ち込みの懸念があり、先行きは不透明感が残る状況となっております。

このような環境の中、当社グループはDSP事業を積極的に展開するとともに、当社の強みである「ビッグデータ解析技術」を生かして、クライアント(広告主)の広告効果の最大化に取り組みました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,366,096千円となり、営業利益は152,230千円、経常利益は137,978千円となりました。また、四半期純利益は40,622千円となっております。

なお、当社グループはDSP事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,673,780千円(前連結会計年度末は1,582,009千円)となり、1,091,770千円増加しました。

流動資産は、2,197,012千円(前連結会計年度末は1,218,434千円)となり、978,578千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加927,071千円、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加59,090千円によるものであります。

固定資産は476,767千円(前連結会計年度末は363,575千円)であり、113,192千円増加しました。

有形固定資産は264,309千円(前連結会計年度末は102,126千円)、無形固定資産は536千円(前連結会計年度末は残高なし)、投資その他の資産は211,921千円(前連結会計年度末は261,448千円)となりました。

有形固定資産の増加の主な要因は、サーバー等の購入及び本社移転に伴うものであります。無形固定資産の増加の主な要因は、ソフトウェアの増加によるものであります。投資その他の資産の減少の主な要因は、本社移転に伴い敷金の返還を受けたことによる敷金及び保証金の減少61,776千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、513,961千円(前連結会計年度末は453,605千円)となり、60,356千円増加しました。

流動負債は、482,783千円(前連結会計年度末は451,334千円)となり、31,449千円増加しました。これは主に、法人税等の確定納付及び中間納付による未払法人税等の減少115,423千円があったものの、その他の増加117,640千円によるものであります。

固定負債につきましては、31,178千円(前連結会計年度末は2,270千円)となり、28,907千円増加しました。これは、本社移転により資産除去債務を認識したことに伴う資産除去債務の増加28,907千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,159,818千円(前連結会計年度末は1,128,403千円)となり、1,031,414千円増加しました。これは主に、新規上場に伴う公募増資を実施したことにより資本金の増加が487,600千円、資本剰余金の増加が487,600千円あったこと、四半期純利益の計上により利益剰余金の増加が40,622千円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績予想につきましては、平成26年6月24日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う、特定子会社の異動はありません。

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したFREAKOUT ASIA PACIFIC PTE. LTD. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,660	1,744,732
受取手形及び売掛金	336,098	395,189
繰延税金資産	19,152	19,152
その他	45,523	37,938
流動資産合計	1,218,434	2,197,012
固定資産		
有形固定資産	102,126	264,309
無形固定資産	—	536
投資その他の資産		
投資有価証券	18,112	30,362
敷金及び保証金	243,336	181,559
その他	—	4,984
貸倒引当金	—	△4,984
投資その他の資産合計	261,448	211,921
固定資産合計	363,575	476,767
資産合計	1,582,009	2,673,780
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,959	188,674
未払法人税等	132,713	17,289
賞与引当金	—	22,494
資産除去債務	22,976	—
その他	136,685	254,325
流動負債合計	451,334	482,783
固定負債		
資産除去債務	—	28,907
繰延税金負債	2,270	2,270
固定負債合計	2,270	31,178
負債合計	453,605	513,961

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,378	937,978
資本剰余金	430,378	917,978
利益剰余金	160,926	201,549
株主資本合計	1,041,683	2,057,506
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,720	1,511
その他の包括利益累計額合計	2,720	1,511
新株予約権	84,000	100,800
純資産合計	1,128,403	2,159,818
負債純資産合計	1,582,009	2,673,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,366,096
売上原価	1,332,560
売上総利益	1,033,535
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	327,525
その他	553,780
販売費及び一般管理費合計	881,305
営業利益	152,230
営業外収益	
受取利息	79
その他	189
営業外収益合計	269
営業外費用	
支払利息	282
株式交付費	3,902
株式公開費用	10,294
その他	41
営業外費用合計	14,520
経常利益	137,978
税金等調整前四半期純利益	137,978
法人税等	97,356
少数株主損益調整前四半期純利益	40,622
四半期純利益	40,622

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,622
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,208
その他の包括利益合計	1,208
四半期包括利益	41,831
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	41,831
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第三者割当による新株の発行

当社は、平成26年5月19日、平成26年5月20日及び平成26年6月3日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式104,200株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成26年7月23日に払込みが完了する予定であります。

(1) 発行株式の種類及び数	普通株式	104,200株
(2) 割当価格	1株につき	1,840円
(3) 資本組入額	1株につき	920円
(4) 割当価格の総額		191,728千円
(5) 資本組入額の総額		95,864千円
(6) 払込期日		平成26年7月23日
(7) 資金の用途		広告配信量及び取扱うデータ量の増加に対応するため、サーバー等の設備投資や、DSPの開発、改良、増強のための開発人員の人件費やデータセンターの利用料として充当する予定であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月24日付けで東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式530,000株の発行を行いました。

その結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ487,600千円増加し、当第3四半期期間末において資本金が937,978千円、資本剰余金が917,978千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループはDSP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。